

そうべつ議会だよ



久保内小学校 休校式

■ 第1回定例会のあらまし	2
■ 予算審査特別委員会	4
■ 一般質問	15
■ 薫風	16

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会
(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

No. 73

■ 2019年4月 ■

定例会のあらまし

議案審議

議員報酬8%削減!!

平成31年4月から実施

平成31年第1回定例会は、3月7日から15日までの9日間の会期で開催されました。1名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。固定資産評価審査委員会委員の選任についてのほか、議案全26件を審議し、それぞれ可決しました。

第1回臨時会

第1回臨時会は、2月22日に開催され、専決処分の承認についてのほか、議案全12件を審議し、それぞれ可決しました。

専決処分の承認（平成30年度壮瞥町一般会計補正予算（第13号））について

繰越明許費6400万円

30年度の町道滝之町中島1号線の道路改良舗装工事について、事業実施を31年度へ繰り越すもの。

質疑

町道滝之町中島1号線の道路改良舗装工事の進捗状況と完成見込みについて。

答弁

本年1月までに町道紫明苑線から町道星野線までの間の用地買収が終わったので、その区間377メートルの工事を実施していく。町道星野線から道道滝之町伊達線間の用地は31年度に交渉を進めたい。国庫補助金など財源を確保しながらできるだけ早期に完成させたいと考えている。

平成30年度壮瞥町一般会計補正予算（第15号）について

3103万円追加

質疑

旧久保内中学校を利用する食品加工施設の事業費・事業計画について

答弁

事業に必要な面積等が確定し



第1回定例会の様子

答弁

事業者との協議において用地

質疑

事業費・事業計画には用地取得に必要な見積額を反映すべきでは。

た後、適正な用地取得費等を反映した事業計画の提出を求める。

取得費等を精査した後、事業計画に反映させることを確認している。事業者は事業実施を強く希望しているので、適正な価格での売却を予定している。

第1回定例会

久保内ふれあいセンター設置及び管理に関する条例の制定について

質疑

立香ふれあいセンター、蟠溪ふれあいセンター及び研修センターを指定管理から外し、町直営で管理することだが、どのような体制で管理していくのか。また、蟠溪ふれあいセンター温泉施設の廃止後の考え及び特定利用券等での対応の考えについて伺いたい。

答弁

指定管理者が光熱水費等を負担し維持管理を行っていたが、今後は町が直接、維持管理を行っていく。蟠溪ふれあいセンターの温泉施設は維持管理経費の負担が大きいため廃止とする。温泉施設の廃止後の特定利用券の利用等については、蟠溪地区

平成31年 第1回

の民間施設での利用等を検討したが、全町的な平等性の確保の面から見送った。

質疑

立香ふれあいセンター、蟠溪ふれあいセンター、研修センターについては一般の利用に供さないとのことだが、地域で施設利用の要請があったときの対応は。

答弁

立香ふれあいセンターは廃止、蟠溪ふれあいセンターも一般利用に供さないが、避難所として活用したいので蟠溪自治会に清掃等の管理をお願いしたいと考えている。研修センターは、説



久保内小学校冬休み自由研究発表会

明会の際、地域、企業等から利用の要望があり、利用の際は役場へ連絡をいただき、対応することとなる。

質疑

有珠山噴火災害時等の長期避難所として蟠溪ふれあいセンターを利用する際、温泉施設の利用は可能か。

答弁

噴火災害だけでなく、大雨災害時等にも避難所として使用しており、床暖房、ロードヒーティングについては現状のとおり管理していく。温泉施設については利用しない考えている。

平成30年度壮瞥町一般会計補正予算(第16号)について

1億8587万8千円減額

土地売却代

494万4千円減額

質疑

蟠溪地区の町有地が、今年度、売却に至らなかったとのことだが、その内容について伺いたい。

答弁

国道453号整備に係る町有

地の国への売却のうち2筆の町有地について、隣接地所有者の境界確認の承諾が得られなかったもの。当該町有地の売却は、今後、土地収用法の手続により進められるとのこと。

平成30年度壮瞥町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

600万円追加

財政安定化基金貸付金

500万円追加

質疑

今回借り入れる財政安定化基金貸付金の償還方法について。

答弁

平成33年度からの介護保険計画で、貸付金返済分を含んだ介護保険料を定める見込みである。

壮瞥町議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定について

これまで議会傍聴の際、傍聴受付簿へ住所、氏名を記入することとなっていました。個人情報保護の観点から、傍聴受付票を投函する方式に改正されました。

議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議員報酬を8%減額することに決しました。これにより議員1名分の報酬額の削減が図られます。

議 会	条例額	削減後額
議 長	270,000円	248,000円
副 議 長	215,000円	198,000円
常任委員長	195,000円	179,000円
議会運営委員長	195,000円	179,000円
議 員	179,000円	165,000円



工事発注状況

平成30年12月から平成31年2月まで

()内は予定価格

- ・上久保内地区農業用排水路補修工
1,868,400円(1,890,000円)
壮建興業株
- ・道道滝之町伊達線水道施設移設工事
3,240,000円(3,445,200円)
(有)堀口水道

39億5,900万円 1億200万円増

第5次行政改革を継続・推進

■平成31年度壮警町各会計予算状況

区 分	31 年 度	30 年 度	増 減
一 般 会 計	3,959,000千円	3,857,000千円	102,000千円
国民健康保険特別会計	466,000千円	513,900千円	△47,900千円
後期高齢者医療特別会計	48,600千円	48,300千円	300千円
介護保険特別会計	345,000千円	348,900千円	△3,900千円
簡易水道事業特別会計	292,500千円	223,600千円	68,900千円
集落排水事業特別会計	174,400千円	200,700千円	△26,300千円
合 計	5,285,500千円	5,192,400千円	93,100千円

【答弁】
予算編成上、基本的に余分な予算計上はしない考えで統一している。交際費については、支出見込みが難しい面もあり、また、不足が生じてからの補正は避けたいため、若干余裕を持たせ計上している。

【質疑】
町長交際費、議長交際費は、前年度と同額が計上されているが、実績を勘案した予算計上をすべきと考えるが。

【質疑】

特別職施策推進事業

185万円

総務費

総務費

歳出

一般会計



壮警中学校1・2年生火山学習

【質疑】
庁舎清掃委託料について前年比50万円ほどの減額となっており、職員も自ら清掃等を行うとのことだが具体的な内容と考え方を伺う。

役場庁舎等維持管理経費

1318万9千円

【答弁】

庁舎清掃については庁舎の窓と床のワックスがけの委託料を計上した。事務室をエリア毎に分け、各課職員で対応し、ロビーや会議室等の共有部分については当番制で対応したい。

【質疑】

経費削減の努力を職員自ら行うことは評価したい。また、他の場面でも職員が汗をかく姿勢を見せることで行政施策に対する住民の理解が得られやすいと思うが、考え方は。

【答弁】

今回の清掃委託料の予算化については、財源が厳しいという事を踏まえて発想したものであり、管理の在り方も含めて恒常的な経費をどう抑えていくかが大事だと思う。これまで役場前ロータリーの

第1回定例会で予算審査特別委員会に付託された「平成31年度壮警町各会計予算について」は、予算審査特別委員会において、3月13日から15日までの3日間審議を行い、可決すべきものと決定し、15日の本会議で可決しました。

第5次行政改革を推進 平成31年度予算総額52億8550万円を可決!!

一般会計予算総額は 前年比

防災行政無線のデジタル化整備工事を実施

花植えは職員が休みの日にボランティアで参加しているが、今後も職員の労力奉仕や住民との共同作業等について検討協議したい。

質疑

保健センターの施設清掃委託料は、ほぼ前年度同額だが。

答弁

保健センターについても、予算への反映には間に合わなかったが、経費削減のため回数を減らし、できる範囲で職員が対応する考えである。

自治会業務

232万円

質疑

町広報紙等の配布について、自治会単位で自治会長宛に届けられているが、一部自治会には、班単位に分け、班長に直接届けるケースもあるとのことだが、行政サービスの均一化、統一化の観点から改善すべきと考えるが。

答弁

広報配布は自治会側に義務がある訳ではなく、自治会に協力をお願いして配布すること

とで現在に至っており、仮に自治会の協力を得られず、郵送となると莫大な経費となる。取り扱いについて内部協議しており、現状の方法が妥当と考えられる。今後も地域と連携しながら進めていきたい。

無線放送施設経費

3億1030万7千円

質疑

防災行政無線デジタル化整備工事に伴い、個別受信機が全戸（約1300戸）配布されるが、これまでの受信機との違いは何か。

答弁

現在の個別受信機はアナログ式のため、防災行政無線は聞き取りづらいとの声が多かったため、個別受信機の全戸配布を予算化した。

質疑

昨年度の設計段階での質疑では、事業費は1億円程度との答弁だったが、今回、事業費が3億円となったことの理由は。

答弁

個別受信機の配布もあるが、



女性学級（手芸教室）

調査の結果、電波を中継局から子局に飛ばす際に、子局以外に再送信する子局の設置も必要となったこと等の要因がある。国の施策により、無線がアナログからデジタルに代わることから設備を更新するもので、32年までの整備には「緊急防災・減災事業債」という有利な財源を活用できることから前倒しで事業実施することとした。

※緊急防災減債事業債とは全国的に緊急に実施する必要性が高く、住民の避難や災害に強いまちづくりに資する地方単独事業を対象とし、充当率100%、交付税算入率70%の財源的に有利な事業債です。

質疑

個別受信機は、防災無線だけでなく、FMビューの受信もできないか。また、停電時はどうなのか。

答弁

防災行政無線の電波とFM放送の電波を同じように受信できるかわからない。

停電時は、子局には72時間対応の蓄電池、個別受信機は乾電池を備えているので受信できる。

諸費一般管理事業

309万7千円

質疑

政策評価アドバイザーの見直しを行ったとのことだが、その内容と、総合戦略事業に絞った事業の効果と評価は。

答弁

政策評価アドバイザーについては昨年度まで費用弁償を2回分計上していたが、今回は1回分だけを予算化した。27年度から人口減少に歯止めをかけ、活気ある地域づくりに取り組むために「総合戦略」を策定し、実施しているが、29年度から補助金が減額

まちづくり総合計画を策定

《 公共施設の見直しにより、立香、蟠溪ふれあいセンター廃止 》

され採択要件が引き上げられ、使いづらい面もあるが、前向きに取り組んでいきたい。
また、行政評価とも関連しており、明確に成果をあげているとまでは言えないが、今後事業の評価見直しの精度を高めていくことが必要であり、事業の取捨選択につなげていきたい。



演芸交流会

財産管理費

4336万9千円

質疑

公共施設の指定管理を見直したとのことだが、町直営管理によって町負担の経費が増えた部分は。

答弁

財産管理事業の中で電気料、

水道料を含めて80万円程度、消防設備の保守点検料として5万円程度、施設清掃委託料と浄化槽保守点検で60万程度が増えた。
一方、指定管理から外したことで、総体の町負担は200万円程度削減される。

【戸籍住民基本台帳費】

戸籍住民基本台帳費

143万8千円

質疑

本町の現在の外国人登録者数は。

答弁

2月末で、町民2505人のうち39人が外国人登録者である。

【企画費】

コミュニティタクシー
運行維持費補助金

1020万円

質疑

コミュニティタクシーの利用者の状況について。

答弁

29年度の実績は登録者345人、実利用者128人で、

30年度は途中だが、登録者363人、実利用者128人となっている。
利用者の入院や転出等による増減がある。昨年のアンケート調査で、通院便の始発時間が多い、路線バスへの乗り継ぎが不便等の意見・要望があった。

ジオパーク推進経費

572万2千円

質疑

ジオパーク学術専門員の雇用形態はどのようにされるのか。

答弁

31年4月からの1年間、洞爺湖町の嘱託職員として雇用される。

質疑

学術専門員は専門職として活躍されることが期待されるが、情報館等にある火山等の貴重な資料等を活用できるような環境を提供することが必要であり、むしろ壮瞥町が積極的に進めるべきと考えるがどうか。

答弁

北海道大学との連携協定や環境省との連携などを活用し、学術専門員が活躍できる環境整備に努めることが重要と考えており、このことを協議会においても発言していきたい。

行政情報システム運用
管理事業

3273万3千円

質疑

パソコン等のセキュリティのために必要と理解はするが、サーバーやネットワークシステム等の更新頻度や費用が高く、業務効率化の費用対効果が薄いのでは。

答弁

他市町との意見交換の中でも、新たな固定経費、行政コストであるとの認識を共有している。情報化が進むにしたがって、パソコンOSの更新経費や広域連合負担金も大きい、経費圧縮については広域連合でも意見を述べており、今後も引き続き経費圧縮の取組が必要と認識している。

新年度、第5次壮瞥町

ふるさと納税に係る経費の削減

定住促進・まちづくり 推進事業補助金

100万円

質疑

地域おこし協力隊が起業するための補助金とのことだが、その内容について。

答弁

国の制度上、地域おこし協力隊の最終年度又は卒業後1年以内に起業の際、上限100万円の補助金を支給できるとされていることから予算措置するもの。

ふるさと納税事業

1972万9千円

質疑

ふるさと納税の返礼品の取扱いについて国から通知されている内容と本町の状況について。

答弁

納税額の3割を上限として地元の特産品を返礼品とするよう通知されている。本町においては納税額3500万円に対し、返礼品分1050万円、送料分525万円の計1575万円を予算計上し、国

の通知の範囲内での運用としている。

質疑

ふるさと納税事業の手数料265万7千円について。

答弁

ふるさと納税のインターネットサイト上で1社とのみ契約していたが、30年11月から2社追加して商品管理等の内容について契約の見直しを行い、手数料の削減につながった。

総合戦略推進会議委員報酬

19万2千円

質疑

行政評価と総合戦略の違いと、総合戦略の今後の取組の方向性について。

答弁

総合戦略は27年度から31年度までの5年が計画期間となっており、新年度、計画の見直しを行う予定。行政評価と総合戦略は共通する面も多いが、国の制度の趣旨に沿って、各種計画との整合、整理を図りながら、計画策定にあたりたい。

蟠溪地区バス待合所移設工事

130万円

質疑

移設工事の内容について。

答弁

国道453号拡幅に伴って現バス待合所を移設するもの。現待合所の撤去も工事内容に含まれているため高額になっているが、移設先の待合所については一回り小さなものを予定している。

総合計画策定事業

83万5千円

質疑

総合計画策定のスケジュールについて。

答弁

総合計画は、総合的・長期的な視点からまちづくりの方針を定めるものであり、1年間かけて策定していきたい。4月から審議会委員の委嘱、町民アンケート等を実施し、7月頃には地域懇談会を開催し、素案をまとめた後、審議会等での議論を踏まえ、年末までにパブリックコメントやフォーラム、町政懇談会を实

施し、意見集約や計画案の説明、周知を経た上で、策定したいと考えている。

壮瞥町を維持していくため、農業と観光の振興、健康なまちづくり、災害に強いまちづくりを計画に盛り込んでいきたい。



女性学級（体操教室）

民生費

【社会福祉費】

町営温泉施設利用料負担金

989万6千円

質疑

蟠溪ふれあいセンター廃止に伴い、激変緩和措置として、年限を定めて町内の公共入浴施設だけでなく民間の入浴施設にも特定利用券の適用は考えられないか。

購入助成を実施

保育及び子育て環境の維持に尽力

【答弁】

蟠溪ふれあいセンター入浴施設は、地域住民のほか、コミュニティタクシーを利用して入浴されている方もいる。蟠溪地域の方々と協議し、また、他地域の民間入浴施設との公平性を考慮し、特定利用券の適用はなしとしたが、今後の検討課題としたい。

福祉灯油購入助成事業

120万円

【質疑】

福祉灯油の対象数と評価は。

【答弁】

30年度の対象は202世帯で申請は163世帯。支給総額は163万円となる見込み。評価については、大変ありがたいとの声をいただいている。

【老人福祉費】

緊急通報システム管理委託事業

117万3千円

【質疑】

緊急通報システム管理委託料の減少要因は。

【答弁】

緊急通報システムは2月末で31世帯が利用しているが、今後も同程度で推移するものと見込まれることから実績を勘案し予算額減とした。

【心身障害者福祉費】

重度心身障害者医療費助成事業

630万5千円

【質疑】

重度心身障害者医療扶助の対象者数は。

【答弁】

重度心身障害者として障害者手帳を交付されている方は200人程度おり、医療費受給者証は2月末で54人に交付されている。

障害者自立支援給付等事業

1億5186万9千円

【質疑】

障害者自立支援給付等事業の内容は。

【答弁】

障害者自立支援給付等事業の対象者は55人で、就労支援

施設利用に対する給付となっている。

【児童福祉費】

保育及び子育て環境整備事業

5669万4千円

【質疑】

嘱託・臨時保育士が不足している理由とその対策について。

【答弁】

ハローワーク等で募集しているが、保育士を正職員で採用できる状況にないこと、また、全国的に保育士の雇用が拡大していることから保育士が不足している。対策としては、働きやすい環境と安全な保育体制を確保し、保育及び子育て環境を維持していきたい。

【質疑】

保育士不足による保育対応と国の交付金の影響は。

【答弁】

11時間保育については保護者とあり方を協議していきたい。また、0〜2歳児クラスは統合する。障害児保育は保

育士確保ができていないため受入が困難な状況にある。国の交付金については児童クラブと子育て支援センター事業が対象となっており影響はない。

管外入所負担金

231万9千円

【質疑】

管外入所負担金の内訳と今後の見通しについて。

【答弁】

次年度は幼稚園入所5人で前年度比1人増となる見通し。今後も同程度で推移すると見込んでいる。



「ひまわりの絆プロジェクト」絵の寄贈

新年度も福祉灯油

特産品開発支援事業を継続

衛生費

【保健衛生費】

壮瞥町温泉利用管理共同組合源泉掘削補助金

960万円

質疑

掘削に至った経緯と温泉水の活用は。

答弁

昨年6月に壮瞥温泉管理組合から、新規民間事業所への温泉の安定供給に不安があるため新たな源泉が必要との要望があったことから掘削補助金を予算化した。

新規源泉と既存源泉を合わせて活用し、新規事業所及び既存事業所へ温泉を供給していく。

農林水産業費

【農業費】

農地基本台帳システム保守点検委託料

128万9千円

質疑

委託業務の内容と具体的な行政効果は。

答弁

間もなくサポートが切れるパソコンOSのバージョンアップに併せて実施することで固定資産税等の情報連携作業が可能となる。また、32年度の「森林経営管理法」施行の際にも、農地、林地情報の一括運用が可能となる。



全国果樹技術・経営コンクール
農林水産大臣賞受賞

**堆肥センター運営事業
施設管理業務委託料**

2250万円

質疑

前年度同額の予算計上で、管理委託料から堆肥売り払い代を差し引いた町の持ち出しも1千5百万円程度とほぼ同額となっているが、町財政が厳しい中、経費削減と販売拡

大を図り収支改善に努めるべきではないか。

答弁

前年同程度の運営見込みと予算計上となっているが、電気料、燃料費等の経常経費は削減努力を継続しており、従前よりはかなり改善されている。また、新たに伊達市農協店舗でも堆肥販売を行ってもらうこととなっており、今後も不断のコスト削減と販路拡大に努め、収支改善に努めたい。

質疑

生ゴミ堆肥の製造を止めることで収支改善には繋がると思うが、生ゴミ回収処理という町民福祉の向上に貢献する公の施設としての性格が薄れることで、今後同程度の町の持ち出しが続くのであれば、たとえ良質堆肥が製造され、利用農家の支持があったとしても施設の維持継続について再検討が必要になるのではないか。

答弁

第5次行政改革実施計画でも堆肥センターの在るべき姿の検討が必要とされており、自治法上の公共性を含め施設

の在り方を多角的に検討して行く。

新規就農支援対策事業

143万円

質疑

就農フェア参加の具体内容は。

答弁

昨年は札幌に2回出展ブースを設け、本町の雇用就農の推進やシェアハウス利用等について説明を行い、1名が来町し雇用就農された。新年度も同様に来店するよう予算計上している。

**農業研修シェアハウス
運営事業**

118万1千円

質疑

現在の利用状況は怎么样了。また何軒の農家に就労しているのか。

答弁

年度中の出入りはあるが、現在は3室4名の利用状況で、3軒の農家に通年雇用で就労している。

管理で新たな取組を導入

冬季周遊バス事業を継続

商工費

【商工費】

特産品開発支援事業補助金

100万円

質疑

特産品開発支援事業の次年度の見通しについて。

答弁

町内の農業者、商工業者等へ補助金制度を周知し、毎年数件の利用実績を重ねてきたが、爆発的に補助申請が増える状況にはないことから、今後、地道に特産品開発の取組を喚起していきたい。

そうべつグルメマルシェ補助金

18万円

質疑

テイクアウトコーナー設置というハード整備は実現されなかったが、グルメマルシェの取組の意義は大きいことから、今後の継続と、小規模ながら町内で生産・加工されている商品の発掘、普及拡大による集客の取組が必要と考えるが。

答弁

テイクアウトコーナー整備について費用対効果、財政状況等も考慮し断念したところであるが、参加者のチャレンジ精神は衰えていないことから、新たな参加者を取り込みながら、グルメマルシェを継続していきたいと考えている。



シードル&チャレンジ商品お披露目会

公共施設指定管理者委託料

440万円

質疑

オロフレスキー場に係る指定管理委託料が減額となった理由について。

答弁

前期との比較では、人件費で555万円、消耗品で28

答弁

5万円、修繕料で600万円、その他経費で530万円それぞれ減額となっており、町の委託料も5年間で740万円の減額となっている。これは指定管理者の自助努力によるもので、食堂の外部委託や屋外トイレ電気料の削減等の経費節減に努めた結果が反映されている。

北海道登別洞爺広域観光圏協議会負担金

82万5千円

質疑

協議会の31年度事業の内容について。

答弁

海外及び道内外の観光プロモーション、観光パンフレット等の作成、ニセコ・倶知安・洞爺アクセスバス運行実証事業となっている。総事業費750万円を3市4町で負担している。

冬季周遊バス事業負担金

30万円

質疑

周遊バス事業の内容について。

答弁

運行期間は冬季の3か月間で、前年度比102%の利用客があった。冬季は洞爺湖周辺の民間のバス運行がないため、北海道観光振興機構の補助金を受けて実施しているものであるが、次年度からは事業費の一部を道南バスが自主財源で賄うこととなっている。総事業費220万円を壮瞥町、洞爺湖町、バス事業者、観光事業者等で負担している。

特定非営利活動法人そうべつ観光協会事業

1580万4千円

質疑

観光協会の総事業費194万2千円のうち町補助金以外の財源と、洞爺湖周辺の草刈・樹木管理、オロフレ登山道整備、ひまわり畑整備、観光パンフレット作成、ポスター作成の事業内容について。

答弁

町補助金以外の財源については、指定管理施設利用料や物販収入、会員負担金となっている。洞爺湖周辺の草刈は洞爺湖南側、壮瞥川及び新山沼で実施しており、樹木管理

オロフレスキー場の指定

地域の状況にあった除雪実施と経費削減に取り組む

は蟠溪地区、壮瞥温泉地区で実施している。

オロフレ登山道整備は現在実施していない。

ひまわり畑整備は、壮瞥温泉地区の約2.7haで実施している。

観光パンフレット作成については、ラ・トーヤを毎年1万部作成しているが、近年はほぼ配布され、在庫が残らない状況となっている。

ポスター作成では、観光PRのため、壮瞥町の四季をイメージしたものの作成を予定している。

質疑

ひまわり畑整備の事業費の詳細について。

答弁

事業費総額134万8千円の内訳は、ひまわり栽培を3件の農家に委託し、委託料91万8千円となっている。種子代34万8千円、肥料代8万2千円で、委託料に関しては、反当り畑作収入が10万円程度見込まれるところ、本事業では反当り1万7千円で積算している。

本事業を実施することで、インバウンドを含めた観光客

がひまわり畑に立ち寄って写真を撮るなど集客に効果の高い事業と評価している。

洞爺湖生物多様性保全協議会負担金

68万2千円

質疑

協議会負担金の内容について。

答弁

毎年、協議会が実施しているウチダザリガニ駆除事業の負担金で、洞爺湖町と共同で負担金を支出している。個体数は減ってきているが生息域が広がっており、継続実施が必要と認識している。

そつべつ情報館運営事業施設清掃委託料

144万7千円

質疑

情報館の清掃委託箇所と、経費削減の取組について。

答弁

清掃箇所は1階の観光情報コーナー、2階の火山情報学館とトイレとなっている。清掃回数と経費削減の相関関

係については現状を確認をした上で検討したい。



橋梁銘板完成披露

土木費

〔道路橋梁費〕

道路橋梁維持経費

7884万4千円

質疑

壮瞥町の除雪はきちんとされているが歩道や車道の除雪基準は。

答弁

車道と歩道の除雪基準は降雪量が10センチと決めている。町内の地域によっては、地形、温度、風向き、降雪量などを考慮して実施している。車道を第一として優先的に

考えているため、児童生徒の通学時間に間に合わないが、降雪による事故防止を考え実施している。

質疑

町財政を見ると、現在の除雪基準や見直しが必要では。

答弁

地域により降雪量が異なるため、除雪車出勤の前に状況確認をしてから出勤することになっている。除雪も1500時間を基準に除雪費を予算化し、現在は2400時間を目安として除雪に取り組んでいる。

今後も交通安全を第一に考え、地域の状況にあった除雪を実施、経費削減に努めたい。

〔住宅費〕

町営住宅維持管理事業

1199万4千円

質疑

経費のかけない住宅管理として環境整備に取り組むことが必要では。

道路から玄関先まで、窓下の雑草など入居者一人ひとりの実践で環境整備が必要と考える。

中期計画を策定

地域学校協働活動推進コーディネーターを配置

公営住宅の遊園地も遊具が雑草に覆われている現状をどのように考え対処するか。

答弁

公営住宅に入居する際、入居時のしおりでも入居者へ道路や環境整備について説明し求めている。

高齢化が進む中で、遊園地の草刈りなどは、なんでも町がやるのではなく、入居者の方々と協力して役割分担しながら環境整備に努めたい。

教育費

【小学校費】

小学校運営事業

1658万2千円

質疑

新年度から小学校に「地域学校協働活動推進コーディネーター」を配置するがその役割、活動は。

答弁

このコーディネーターの配置により地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画、立案。学校や地域住民、企業、団体等の関係者との連絡調整。地域ボランティアの



オロフレスノーフェスティバル

募集、確保。地域住民への情報提供、助言等の活動が期待される。

要保護・準要保護児童
援助費

296万8千円

質疑

経済的に恵まれない児童生徒のために教育扶助費を計上しているが、31年度から支給方法の変更があるとの説明だがその内容は。

答弁

扶助費の支給方法は、従前は国の基準で給付していたが、31年度から近隣市町と同様に実績額での給付に改める。

質疑

国の基準と実績額給付の相違点は。

答弁

支給対象のすべてが実績額の給付でなく、国の基準と実績額を併用して給付を取り進める。

給付対象は学用品、体育実技用具、校外活動費、入学準備金、修学旅行費、給食費のうち、学用品と入学準備金は国の基準で給付、それ以外は実績額の給付となる。

【高等学校費】

高等学校運営事業

1570万2千円

質疑

久保内中学校跡への移転の案もあったが、町長の苦渋の決断から現在地での高校存続となったが、地域の学校として優秀な生徒を輩出し、就職・進学においても学校、生徒の努力が実を結んでいるが、町長は現状と未来に期待を込めての考えは。

答弁

教職員の指導、生徒の努力により各種研究大会で優秀な

成績をあげていることに感謝したい。

26年度から学科転換して地域の働き手としての人材育成に努めており今度も期待したい。

将来は生徒数の減少も考えられるが生徒の確保に努力していきたい。



【社会教育費】

社会教育推進事業

147万9千円

質疑

31年度は教育委員会に限らず、多くの推進計画の策定が予定されているが、第8次社会教育推進計画の策定の進め方は。

答弁

計画策定については、各委員会で反省に基づき望ましい方向付けをして策定に取り組みたい。

31年5月が社会教育委員、文化財審議会委員の任期満了となるため、選任後作業に取り組む。

第8次社会教育

ラスパイレス指数の改善に努める

給与費

【給与費】

給与費

6億9135万7千円

質疑

30年第7回臨時会で人事院勧告に基づいた改定で人件費が上がっているが、この中に占める高校の人件費と、高校に係る地方交付税算入額は。

答弁

給与費に占める高校教職員の人件費は9875万円、全体の14%。

地方交付税算入額は、教職員分9968万2千円、生徒分1300万6千円で、計1億1266万8千円となる。

質疑

管理職手当の改正内容と31年度の高校を除く管理職手当額は。

答弁

管理職手当は、職務の級における給料表の最高の号給の給料月額額の100分の15を超えない範囲内で規則で定める額とする改正で、31年度の対象管理職数は前年度より1人

減の9人で、781万6千円、202万9千円の増となる。

質疑

ラスパイレス指数が低いと職員採用時に優秀な職員が集まらないのでは。

答弁

29年度壮瞥町の指数は94.9で、全道で下位から10番目。30年度の指数は96に上がる見込みだが、全道でのランクは下の方である。ラスパイレス指数の改善に努めているが、一気に改善は難しく、国の給料表を使用しているが、各町村とも、ほぼ同じ条件となっている。

第4次行財政改革で理事者の方針に基づいて、管理職手当を定額制にし、管内でも低く抑制してきた経緯があり、また、主幹級の職員は時間外手当を加算すると課長級よりも上回り一定の改善が必要と考えている。

※ラスパイレス指数とは

地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準と比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用

職員の俸給月額を100として計算した指数です。



久保内小学校回顧展

一般会計

歳入

町民税

1億3348万4千円

質疑

納税義務者が昨年度1260名から今年度は1290名多く見積もっている理由と、所得割の特別徴収5940万、普通徴収が2813万5千円で前年と比べて、特別徴収で約390万減、普通徴収で約500万円増になっているが

その根拠は。

答弁

納税義務者を多く見積もった理由は、就職者が30名増えているため。また、所得割の特別徴収では、前年度と比べ150人減、普通徴収では180人増となっていることを反映している。

地方消費税交付金

6500万円

質疑

地方消費税交付金が前年度より500万円増えており、10月からの消費税10%アップを見込んでのものだと思うが、これは、社会保障費に充てることに限定されているのか。

答弁

社会保障財源に限定される。

生産物売払収入 堆肥売払代

740万円

質疑

30年度740万円、29年度960万円と実績にあわせて予算化していると思うが、30年度の見込額を伺いたい。

介護保険 保険者機能推進交付金の活用推進

【答弁】
620万円から630万円程度と見込んでいる。

市町村職員退職手当 組合清算還付金

500万円

【質疑】
この還付金の具体的な内容は。

【答弁】
毎年納めているものであるが、近年退職者が減っているため、納付して3年後に清算して、還付されるものである。

一般会計全体について

【質疑】
行政改革で補助金の削減10%を掲げているが、各団体の補助金が長い間、前年と同じ金額で予算計上している。今後は事業内容を精査して見直すべきではないか。

【答弁】
具体的には決まっていないが、今後は各関係団体と協議をし、その際は、事業内容等もよく精査して取り進めて行きたい。

介護保険特別会計

全体について

【質疑】
30年度の補正予算で財政安定化基金500万円を借り入れて収支のバランスをはかったが、これが次の介護保険料算定の際にアップにつながるのの説明であったが、見通しとして31年度もこの様な事態になりうるのか。

【答弁】
31年度は財政安定化基金からの借り入れは行わない想定で予算を組んでいるが、今後の状況によりるので、借り入れしないという確約はできない。

【国庫支出金】

保険者機能強化推進交付金

50万円

【質疑】
30年度保険者機能強化推進交付金が交付されているが、これは自己採点して申請し、それを基に交付されるものと認識しているが、今回の評価点は612満点中495点で58万4千円が交付されることになったがこの評価に対する見解を伺いたい。

【答弁】

評価点の全道平均は350点で、また、西胆振でも壮瞥町が一番高い評価点となっている。

この交付金は、国の予算額に応じて、点数の他に被保険者数を基に各町村への交付額が決定される仕組みで、当町は被保険者が少ないため交付額が低く、満点を取っても72万円しか交付されないが、高評価を得たと思う。

簡易水道事業特別会計

【維持費】

修繕料

635万円

【質疑】
30年度の当初予算では500万円だったが、補正によって約1200万円となっているが、31年度の修繕箇所の予定はあるのか。

【答弁】
29年度の減圧の工事で降漏水件数が少なくなっている。年度当初から修繕箇所の判断は難しく、修繕は、水道供給に支障がないよう機械器具を優先に行っている。

簡易水道水質検査委託料

512万3千円

【質疑】
今回新たに簡易水道水質検査委託料512万3千円が計上された内容と、手数料400万円減額の関係性について伺いたい。

【答弁】
これまでは水質検査を2箇所の検査機関で実施しており、役務費で予算措置していたが、30年度から水道水を保管するよう保健所の指導があったことから、道内の検査機関では対応できないことから、道外の検査機関に委託する予算措置をした。



壮瞥高校「行政相談出前教室」

いっぱん質問 Q & A

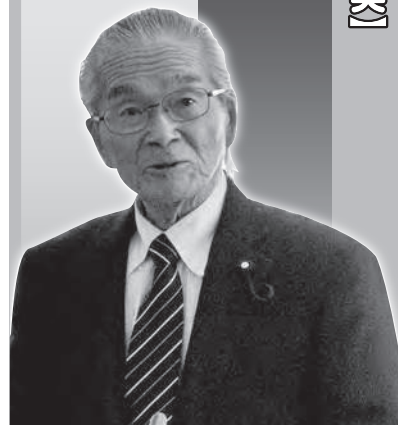


保育所年長・壮小5年生交流事業

「人事管理と特別支援教育の充実」

Q 臨時職員嘱託職員の現状は

A 臨時職員31人、嘱託職員25人。人件費の抑制・効率的な業務推進を。



佐藤 志

議員 31年度の配置先は。

町長

臨時職員3人の減は子どもセンター1人と教育関係2人。

嘱託職員は子どもセンター関係で5人の減。総務課で1人の増。

嘱託保育士、臨時保育士は募集定員を下まわり、欠員で厳しい状況の中での運営である。

議員

嘱託・臨時職員の賃金総額は。

町長

30年度は9256万円、31年度は7921万円で1335万円の減。

人件費の抑制は、臨時職員、嘱託職員数を計画的に管理し、人件費を抑制、効率的な業務推進を進めたい。

Q 特別支援教育の充実を

A 言語学級の新設

議員

児童生徒の特別支援教育は大切であり、現状と31年度の取組は。

生涯学習課長

小・中学校に特別支援教育支援員を配置、30年度は小学校4人、中学校1人で、31年度は中学校の対象者がいないため、小学校のみで、支援学級に知的と情緒のほかに、言語学級が増える予定であり、支援学級の充実に努める。

議員

31年度に採用する地域学校協働活動推進コーディネーターの配置目的は。

生涯学習課長

29年3月の社会教育法の改正により、地域住民と学校との連携協力体制整備や普及啓発活動に従事することを目的。

議員

コーディネーターの果たす役割は。

生涯学習課長

地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画立案。学校、地域住民、企業、団体等の関係者との連絡調整。地域ボランティアの募集、確保。地域住民への情報提供、助言、活動促進等の役割を期待し配置する。



平成29年
4月に壮警
小学校に赴
任して、ま
ず感じたこ

とは、保護者・地域の方々の教育
に対する関心がとても高く、地域
とのつながりが強い学校だとい
うことです。

ほんの一部を紹介すると、運動
会での「夢見る壮警」の太鼓指導、
1・2年生の茶道体験、3年生の
壮警高校生徒作物の栽培等の学習、
4年生の洞爺湖周辺の自然を学ぶ
環境学習や人権教室、5年生の食
育指導と宿泊学習、6年生の租税
教室や行政相談学習、5・6年生
の福祉の学習など全ての学年で多

くの皆様にご指導いた
だいております。

これら、従来行つて
いた教育活動に加え、
久保内小・壮警小の2
校間で交流学习を実施
しようという計画が進んで
いました。

背景には町内の児童
数が減少していること

から、体育において壮警小では、
チーム数が少なくメンバーも固定
されるため学習に広がりがない。

久保内小では、体育等でゲームを
することができず学習できない題

材があるなどの課題がありました。

また、外国語が5・6年生で週に
2時間となりALT（外国語指導

助手）を毎時間配置することが厳

しい、中学入学で初めて一緒に学
習することによる人間関係での心

配も要因として考えられました。

そこで5年生の宿泊学習と、6
年生の修学旅行の宿泊を伴う行事

を合同で行う、日常の授業では、

5年生は水・金曜日、6年生は

火・木曜日の朝からスクールバス
で壮警小に登校して2時間の学習

を行うという内容にしました。

1時間目は外国語、2時間目は、
体育や道徳、宿泊学習や修学旅行
の準備とまとめの学習などを主に
行いました。5年生も6年生も最
初は戸惑いも見られましたが、す
ぐに慣れて一緒に楽しく活動して
いました。

久保内小の休校が決まってから
は、1年生も3学期から水曜日に
1・3時間交流学习を行いました。
回数を重ねるごとに慣れてきて一
緒に鬼ごっこをしたり、生活科で
2年生とも一緒にゲームをしたり
して楽しく活動できました。

これまでの取組を通して、4月
から町内の全児童が壮警小で仲良
く元気に学習ができることを楽し
みにしていると、これまで
と変わらない地域とのつながりを
感じられる学校づくりに励みたい
と思います。



編集後記

まもなく私たちが長く親しんで
きた平成の元号が変わります。

このテーマについては72号の議
会だよりでも取り上げておりまし
たが、本号ではアプローチを変え
て、元号の選定条件と意味につい
て調べてみました。選定条件は、
①「国民の理想としての良い意味
を持つこと」、②「漢字2文字で
あること」、③「書きやすいこと」、
④「読みやすいこと」、⑤
「過去に使われていないこと」、
⑥「俗用されていないこと」等だ
そうです。

ちなみに近代に使用されてきた
元号の意味では、『明治』は「不
動の存在である北極星のように聖
人が南を向いて政治を聴けば、世
の中は明るい方向に向かつて治ま
る」、『大正』は「天が民の言葉を
快く受け入れるならば、政治が正
しく行われる」、『昭和』は「国民
の平和と世界各国の共存繁栄を願
う」、『平成』は「国の内外、天地
ともに平和が達成される」という
意味を持っているそうです。

いよいよ新元号が発表されます
が、どのような意味を持ったもの
になるのか興味津々です。

(T・M)